

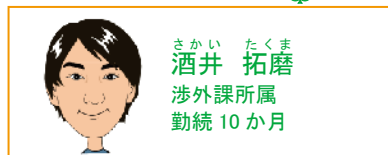


検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 135人目



♣ 136人目



『当たり前』について

「当たり前のことを当たり前にする」という表現をよく耳にしますが、その『当たり前』のとらえ方は個人と集団とでは相違することがあります。疑問符のつく個人の『当たり前』を集団の『当たり前』で論ずるのはともかく、ことに組織においては、上の者の『当たり前』が組織全体の『当たり前』になってしまう場合があります。数年前ニュースになった「表示偽装」問題は、その典型パターンではないでしょうか。

また、一昔前の『当たり前』が『古い考え』になってしまうこともあります。

最近、自分の思う『当たり前』は世間一般から見ると如何なものだろうかと考えることがあります。職場では、私は検査依頼書情報のPC入力を担当しています。ミスなく迅速に処理することはもちろんですが、身だしなみや仕事に対する心構えなど基本的なことも、今一度考え直してみてもいいのではと思っています。

Journey through the Decade

昨年4月に営業職で入職しました。新人研修で検査センターの業務について学び、受付入力部門や集荷同行で検体受領や検査項目について教わりました。そして、営業同行の研修が昨年末に終了し、今年から西区を担当することになりました。先生方に早く顔と名前を覚えていただけるよう、できるだけ多くの医療機関様を訪問するよう心掛けています。

タイトルですが、入所して10か月が経過したということで、「10の旅を経過して」という意味でつけました。この間に失敗もしましたし、沢山の方と接する経験もできました。

就活時の大変な苦勞を忘れず糧にし、これからも色々なものに取り組んでいきたいです。まずは、先輩の勧めもあり、練習場も家の近所にあるので、ゴルフを始めてみようと思っています。